

圏央道で繋がる 幸手と未来

幸手インターチェンジと 幸手中央地区産業団地

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）は、都心から半径およそ40km～60kmの都市を繋ぐ延長約300kmの高規格幹線道路です。横浜、厚木、八王子、つくば、成田、木更津などの都市を連絡し、東京湾アクアライン、東京外環自動車道などと一体となり、首都圏の広域的な幹線道路網を形成しています。

平成27年10月に埼玉県区間全域、平成29年2月に茨城県区間全域が開通したことにより、西は神奈川県、東は成田空港までのアクセスが格段に向上し、今までよりさらに、どこへでも繋がりがやすくなりました。

平成27年3月に開通した圏央道幸手インターチェンジの東側では、現在、幸手中央地区産業団地の工事が進んでいます。交通の利便性から、物流・輸送拠点として最適のロケーションであり、平成29年1月現在、11社への分譲が済んでいます。

また、のどかな田園環境に配慮するため、工業団地の周囲には高木を植栽しています。豊かな自然と調和した幸手らしい工業団地の誕生も、もう間もなくです。

